

社会資本総合整備計画（政策分野「水の安全・安心基盤整備」） 事後評価書

平成28年3月25日

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	新居浜市・新居浜港務局
計画の目標			

公共用水域の保全と都市環境の向上のため、効率的な計画による公共下水道整備を行うとともに、安定した水処理を行うため、施設の長寿命化を図りながら適切な改築更新等を行う。また、安心して暮らせるように避難場所の確保のための公園整備や雨水施設及び護岸整備による浸水対策、警防・予防体制の充実などにより、都市防災に強い市街地の整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道人口普及率の向上（56.2%から61.4%） ・下水道による都市浸水対策達成率の向上（57.9%から64.2%） ・護岸の老朽化対策による浸水防護面積の割合の向上（82.2%から93.8%） 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H22)	(H24末)	(H26末)	
下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	56.2%	—	61.4%	
10年に1回の降雨に対して対策済みの面積（ha）／対策が必要な面積（604ha）	57.9%	—	64.2%	
護岸の整備による浸水防護面積の割合 浸水防護ができていない面積／防護すべき面積（22.0ha）＝浸水防護面積の割合	82.2%	—	93.8%	

拠点施設・重点地区	【拠点施設】		
-----------	--------	--	--

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,558.4	A	3,323.3	B	135.4	C	99.7	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.8%
-------	------------	---------	---	---------	---	-------	---	------	------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
新居浜市において事後評価を実施	平成28年3月 公表の方法 新居浜市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	汚水	改築	新居浜市下水処理場・菊本雨水ポンプ場（長寿命化）	ガスタンク・管理棟電気設備等	新居浜市						889.1	
1-A-2	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	汚水	新設	汚水管渠（新居浜処理区）	汚水管渠 L=10,844m	新居浜市						1,218.5	
1-A-3	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	汚水	全種	調査設計	管渠設計・地震対策等	新居浜市						115.4	
1-A-5	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	雨水	新設	雨水管渠（新居浜排水区）	雨水管渠 L=2,561m	新居浜市						925.8	
1-A-6	下水道	一般	新居浜市	直接	新居浜市	雨水	全種	調査設計	管渠、改築診断等	新居浜市						108.5	
1-A-8	海岸	内地	新居浜港務局	直接	新居浜港務局	老朽化	新設	新居浜港海岸海岸堤防等老朽化対策緊急事業	護岸改良 L=43m	新居浜市						66.0	
合計																3,323.3	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-B-1	公園	一般	新居浜市	直接	新居浜市	近隣・新設	神郷都市公園整備事業	面積 A=1.0ha	新居浜市							135.4	
合計																135.4	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
1-B-1	下水道事業（1-A-5）に併せて、浸水時の避難箇所となる公園を一体的に整備することにより防災機能を強化し、災害発生時の避難場所の確保を図る。																
1-B-2																	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	新居浜市	直接	新居浜市	新設	雨水施設整備事業	雨水流入施設 1箇所	新居浜市						4.1	
1-C-2	施設整備	一般	新居浜市	直接	新居浜市	新設	汚水施設整備事業	汚水面整備管 L=1,064m	新居浜市						75.2	
1-C-3	施設整備	一般	新居浜市	直接	新居浜市	新設	老朽化施設データベース構築事業	データ化延長 L=30km	新居浜市						20.4	
合計													99.7			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	下水道事業(I-A-5)に接続するように雨水末端管渠の整備を行うことで、浸水被害の軽減を図る。															
1-C-2	下水道事業(I-A-2)に接続するように汚水末端管渠の整備を行うことで、普及率の向上を図る。															
1-C-3	調査設計(1-A-3、1-A-6)で実施する改築診断などの点検調査結果を有効活用し長寿命化計画を策定するために、公共下水道老朽施設のデータベースを構築する。															
1-C-4																
1-C-5																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 汚水管渠の整備を効率的に実施した結果、下水道人口普及率が4.1ポイント上昇し、公共用水域の保全及び生活環境の向上を図ることができた。 浸水対策が必要な地区において雨水施設の整備を推進し、浸水被害の軽減を図ることができた。 既存護岸の改良により、浸水防護面積の割合の向上が図られ、防災対策を推進することができた。 											
II 定量的指標の達成状況	指標①下水道人口普及率の向上	最終目標値	61.4%	目標値と実績値に差が出た要因	計画と実施の工事単価の差異等により目標値には達しなかったが、効率的な汚水管渠の整備に努めた結果、概ね計画どおりの整備を行うことができた。								
		最終実績値	60.3%										
	指標②下水道による都市浸水対策達成率の向上	最終目標値	64.2%	目標値と実績値に差が出た要因		最終目標値を達成することができた。							
		最終実績値	64.3%										
	指標③護岸の老朽化対策による浸水防護面積の割合の向上	最終目標値	93.8%	目標値と実績値に差が出た要因			最終目標値を達成することができた。						
		最終実績値	93.8%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		下水処理場において消化タンク設備、ガスタンク設備の改築更新を行い、水処理の安定化を図ることができた。また下水処理場内の菊本雨水ポンプ場において雨水沈砂池設備の改築更新を行い、施設の持続的な管理、運営に寄与した。											

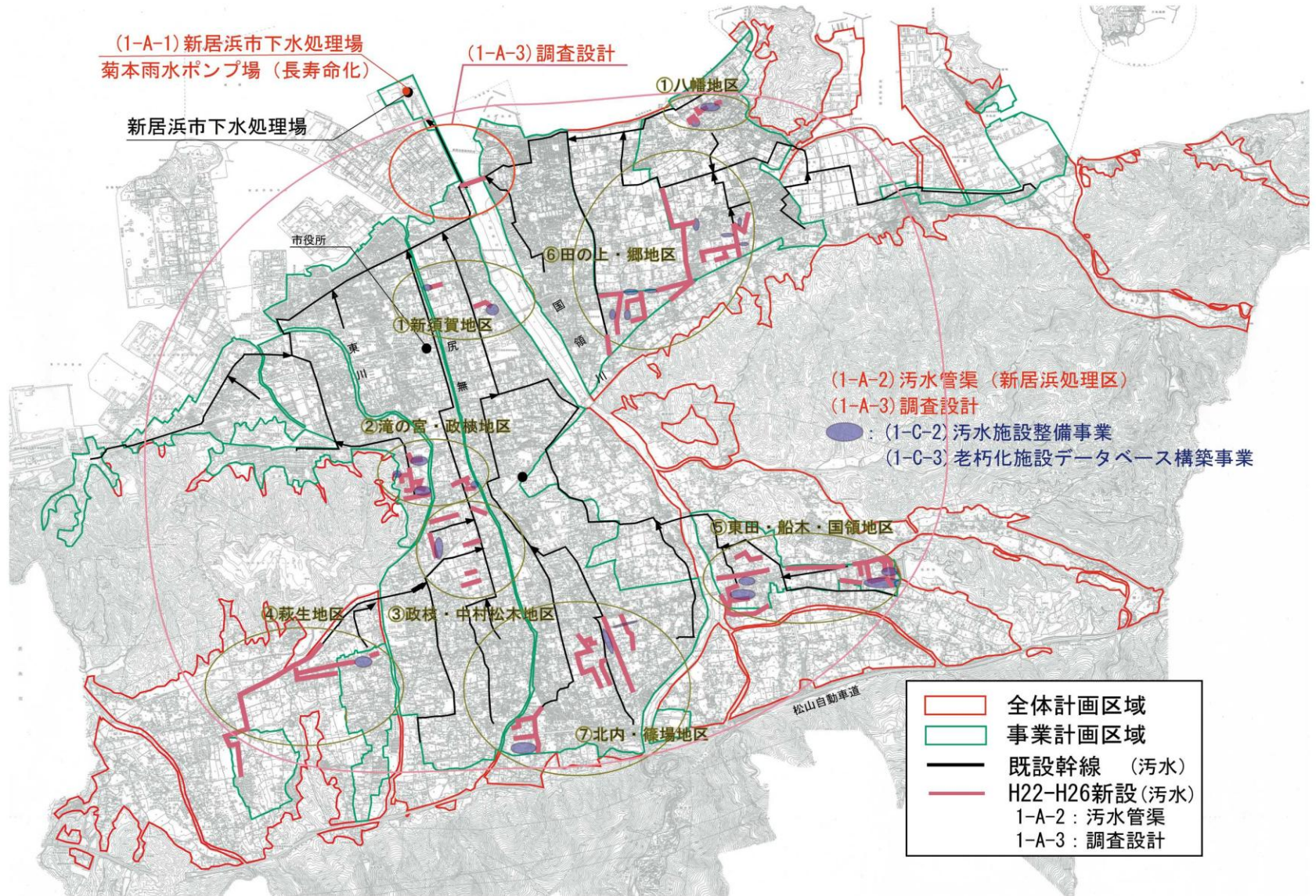
3. 特記事項（今後の方針等）

今後も汚水管渠の整備を促進し下水道普及率の向上を図ると共に、下水道施設の長寿命化、耐震化を計画的に実施することにより施設の安定した管理、運営を図り、快適で安全安心な生活環境の実現を目指す。

(参考図面) 政策分野「水の安全・安心基盤整備」

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	新居浜市

新居浜処理区計画図



(参考図面) 政策分野「水の安全・安心基盤整備」

計画の名称	快適で安全安心な生活環境の実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	新居浜市・新居浜港務局

新居浜排水区計画図

